

駒の子短歌

No.15 令和4年5月30日(月) 佐久市立望月小学校

4月の避難訓練の講話の中で、ジャンプ問題として組体操を行い、

「この組体操で伝えたいことは何か？」

考えてもらいました。

子どもたちからは「人を助ける」という答えがありましたけど……

助けられても



自分から起き上がり



自分で立って生きる。



6年生の日記から

今日、避難訓練があつて、校長先生が組体操をして、この意味を考えました。昼休みに校長先生に会いました。そして「今日の組体操で他に考えたことなかった？」と聞かれました。私は「倒れた人を助けてあげるとか？」と答えました。すると「助けてもらって、『後は自分で立ち上がる』ってことも教えたかったんだよ。」と校長先生は言いました。

ああ、そうか。助けてもらっているけれど、自分でもがんばらないとね。

勉強になりました。

(梓さん)

支えられ 命助けて もらっても

最後は自ら 起き立ち生きる